

商奉行・蔵奉行シリーズの「消費税改正」に伴う 汎用データ受入形式 の変更点

商奉行・蔵奉行シリーズの消費税改正「消費税10%・軽減税率」対応に伴う、変更点をご説明します。

- 対象製品および機能搭載バージョン
- 製品上の対応
- 汎用データ受入（商品）に関連する、お客様・パートナー様の対応
- 汎用データ受入（伝票）に関連する、お客様・パートナー様の対応
 - 『O B C受入形式』を利用の場合
 - 『O B C受入形式』を利用の場合（「税率区分」項目を利用）
 - 『商蔵奉行21 汎用データ受入形式』を利用の場合
- 奉行Open-DB（伝票）に関連する、お客様・パートナー様の対応

【対象製品および機能搭載バージョン】

| | <u>奉行10</u> | <u>奉行8</u> | <u>奉行J</u> |
|-------|-------------|------------|------------|
| ・ 商奉行 | Ver. 3.10 | Ver. 2.58 | Ver. 2.58 |
| ・ 蔵奉行 | 〃 | 〃 | 〃 |

※ 上記のバージョン情報は予定のため、変更になる可能性があります。

【製品上の対応】

■ 『8%軽減税率の取引』への対応

新税率10%施行日（2019年10月1日）以後での8%軽減税率の取引入力のため、「税率種別」項目が追加されています。

| <u>取引内容</u> | <u>税率種別</u> | <u>税率</u> |
|----------------|-------------|-----------|
| ・ 軽減税率の取引 | 1：軽減 | 8% |
| ・ 上記以外の新税率の取引 | 0：標準 | 10% |
| ・ 経過措置の取引（旧税率） | 0：標準 | 8% または 5% |

○ 『8%軽減税率の取引』を登録する際は、「税率種別」項目に「1：軽減」を設定します。

○ 商品ごとに「税率種別」を設定できます。

例) 飲食料品関連の商品に、税率種別「1：軽減」を設定します。

○ 伝票の汎用データに「税率種別」を設定していない（空白の）場合には、商品の「税率種別」にしたがって設定されます。

※ 伝票日付が 2019年10月1日 より前の場合は、必ず「0：標準」で設定されます。

また、「税率」を設定していない（空白の）場合には、伝票日付と「税率種別」をもとに設定されます。

| <u>伝票日付</u> | <u>税率種別</u> | | <u>受入結果（税率）</u> |
|-------------------------|-------------|---|-----------------|
| ・ 2019年10月1日 <u>より前</u> | 0：標準 | ➡ | 8% |
| ・ | 1：軽減 | ➡ | 8% |
| ・ 2019年10月1日 <u>以後</u> | 0：標準 | ➡ | 10% |
| ・ | 1：軽減 | ➡ | 8% |

○ 奉行Open-DB の以下のテーブルに、「税率種別」列が追加されています。

※ 受注伝票・売上伝票・発注伝票・仕入伝票

■ その他の対応

○ 納品書・請求書

- ・ 区分記載請求書等保存方式に対応しています。
- ・ 値引按分に対応しています。

○ 伝票入力

- ・ 伝票の設定「前行税率複写」を廃止しています。代わりに、前行が施行日に応じた税率になっているかを判定して、適切な税率を表示します。
- ・ 伝票入力時に、「2:値引」「7:消費税」の明細の税率を、前行の税率に応じて表示します。
- ・ 値引按分に対応しています。

○ 定期売上登録

- ・ 「初回定期売上開始日」と「初回の売上日付」が施行日をまたぐ場合の「期間単価判定日付」の設定が追加されています。

※ [会社機能設定] メニュー

- ・ 売上計上時の税率を再取得して売上計上するか、定期売上登録上の税率で売上計上するかの設定が追加されています。
- ・ 売上計上時の税率を再取得する場合、税込単価を更新するかの設定が追加されています。

○ 契約売上データ作成にて、売上計上時の税率を再取得する場合、税込単価を更新するかの設定が追加されています。

○ 製品上の「税率」表記が変更されます。

例) 「8.0%」→「8%」

【汎用データ受入（商品）に関連する、お客様・パートナー様の対応】

『OBC受入形式』を利用の場合

商品データの汎用データ受入で、商品ごとに「標準税率」「軽減税率」を設定する機能が搭載されます。
※ 新たに「税率種別」の受入記号（受入項目）が追加されます。

《お客様・パートナー様の対応》

『8%軽減税率が適用される商品』を取り扱っていない場合には、今までの受入形式のまま**変更の必要はありません。**

『8%軽減税率が適用される商品』を取り扱っている場合には、伝票起票時に以下のいずれとするかで対応が異なります。

- ・ 商品の「税率種別」の設定にしたがう
- ・ 手入力で、税率を「8%軽減税率」に切り替える

■ 商品の「税率種別」の設定にしたがう場合

汎用データに、新たに「税率種別」の受入記号（受入項目）を追加します。

また、商品に応じて値をセットします。

- ・ 「軽減税率」が適用される商品 → 「1：軽減」
- ・ 「標準税率」 " → 「0：標準」または「空白」

■ 手入力で、税率を「8%軽減税率」に切り替える場合

→ **変更の必要はありません。**

『商蔵奉行21 汎用データ受入形式』を利用の場合

汎用データ受入形式に変更点はありません。

※ なお、「税率種別」項目はないため、『8%軽減税率の商品』を直接指定して取り込むことはできません。

《お客様・パートナー様の対応》

『8%軽減税率が適用される商品』を取り扱っている場合には、
別途受入後に、[商品登録]メニュー・[商品一括登録]メニューで、「税率種別」項目に「1：軽減」を設定します。

『OBC受入形式』を利用の場合

伝票データの汎用データ受入で、『8%軽減税率の取引』を取り込む機能が搭載されています。

※ 新たに「税率種別」の受入記号（受入項目）が追加されます。

《お客様・パートナー様の対応》

『8%軽減税率が適用される商品』を取り扱っていない場合、または、
『新税率10%の取引』だけを取り込む場合には、今までの受入形式のまま**変更の必要はありません。**

『8%軽減税率の取引』や『経過措置の取引』を取り込む場合には、以下のいずれかで対応が異なります。

- ・ 商品の「税率種別」の設定にしたがう
- ・ 汎用データで「税率」を必ずセットする

■ 商品の「税率種別」の設定にしたがう場合

- 『8%軽減税率が適用される商品』を取り扱っている場合には、
軽減税率が適用される商品に「税率種別（1：軽減）」を設定します。

※ [商品登録] メニュー・[商品一括登録] メニュー

- 受入項目「税率」の対応は、今まで値をセットしているかにより異なります。

▼ 「税率」をセットしていない場合

▼ 『経過措置の取引』の場合だけ「税率」をセットしている場合

※ 『新税率の取引』の場合は「税率」をセットしていない場合

→ **変更の必要はありません。**

▼ 「税率」を必ずセットしている場合

→ 『新税率の取引』『8%軽減税率の取引』の場合は、**「税率」をセットしないように変更します。**

※ 同一商品で『新税率の取引』と『8%軽減税率の取引』が発生する場合には、下記の『■ 汎用データで「税率」を必ずセットする場合』で対応します。

■ 汎用データで「税率」を必ずセットする場合

- 『8%軽減税率が適用される商品』を取り扱っている場合には、
汎用データに、新たに「税率種別」の受入記号（受入項目）を追加します。

また、取引内容に応じて値をセットします。

- ・ 8%軽減税率の取引 → 「1：軽減」
- ・ 新税率の取引 → 「0：標準」または「空白」
- ・ 経過措置の取引 → //

- 施行日以降、受入項目「税率」には取引内容に応じて値をセットします。
 - ・ 8%軽減税率の取引 → 「8」
 - ・ 新税率の取引 → 「10」
 - ・ 経過措置の取引 → 「8」

『OBC受入形式』を利用の場合（「税率区分」項目を利用）

「税率区分」項目は、今まで当項目をお使いの方向けの下位互換用の項目です。
そのため、新税率（10%、8%軽減税率）には対応していません。

《お客様・パートナー様の対応》

「税率区分」項目では、新税率（10%、8%軽減税率）のセットができないため、前ページを参考に「税率」項目に置き換えてください。

ここでは、暫定的に運用対応する方法を説明します。

- 『8%軽減税率の取引』を取り込む場合には、
事前に、商品に「税率種別（1：軽減）」を設定します。
※ [商品登録] メニュー・[商品一括登録] メニュー
- 受入項目「税率区分」の対応は、今まで値をセットしているかにより異なります。
 - ▼ 「税率区分」をセットしていない場合
 - ▼ 『経過措置の取引』の場合だけ「税率区分」をセットしている場合
※ 『新税率の取引』の場合は「税率区分」をセットしていない場合
→ **変更の必要はありません。**
 - ▼ 「税率区分」を必ずセットしている場合
→ 『新税率の取引』『8%軽減税率の取引』の場合は、「税率区分」をセットしないように変更します。
- ※ 「税率区分」項目を利用する場合には、
同一商品で、『新税率の取引』と『8%軽減税率の取引』が発生する場合には対応できません。
前ページを参考に「税率」項目に置き換えてください。

『商蔵奉行21 汎用データ受入形式』を利用の場合

汎用データ受入形式に変更点はありません。

※ なお、「税率種別」項目はないため、『8%軽減税率の取引』を直接指定して取り込めません。

※ また、「税率区分」項目は、新税率（10%、8%軽減税率）には対応していません。

《お客様・パートナー様の対応》

- 『8%軽減税率の取引』を取り込む場合には、事前に、商品に「税率種別（1：軽減）」を設定します。

※ [商品登録] メニュー・[商品一括登録] メニュー

- 受入項目「税率」「税率区分」の対応は、今まで値をセットしているかにより異なります。

▼ 「税率」「税率区分」をセットしていない場合

▼ 『経過措置の取引』の場合だけ「税率」「税率区分」をセットしている場合

※ 『新税率の取引』の場合は「税率」「税率区分」をセットしていない場合

→ **変更の必要はありません。**

▼ 「税率」「税率区分」を必ずセットしている場合

→ 『新税率の取引』『8%軽減税率の取引』の場合は、**「税率」「税率区分」をセットしないように変更します。**

※ なお、同一商品で『新税率の取引』と『8%軽減税率の取引』が発生する場合には、「税率」をそれぞれセットします。

・ 新税率の取引 → 「10」

・ 8%軽減税率の取引 → 「8」

【 奉行Open-DB（伝票） に関連する、お客様・パートナー様の対応 】

奉行Open-DB の以下のテーブルに、「税率種別」列が追加されています。

《伝票テーブル》

受注伝票・売上伝票・発注伝票・仕入伝票

《お客様・パートナー様の対応》

- 『8%軽減税率が適用される商品』を取り扱っていない場合、または、
『8%軽減税率の取引』を区別する必要がない場合には、今までのまま変更の必要はありません。
- 『8%軽減税率の取引』を区別する場合には、「税率種別」列で判断する改修が必要です。